

代表質問・質問について

12月4日から7日までの4日間で34人の議員が代表質問、質問(個人質問)を行いました。その一部を質問順にお伝えします。(表記方法は会派の意向を尊重しています。)

詳細な内容は、会議録をご覧ください。会議録は、市役所の市民総務室(情報公開)、図書館等に備えています。また、市議会のホームページでは、会議録の検索・閲覧、本会議の録画放映の視聴ができます。

代表質問

今定例会では7会派が代表質問を行いました。

文化会館改修に第三者の意見を



地震被害で使用中止となつた文化会館大ホール等の改修関連予算は、9月定例会で工法等の再検討のため、撤回され、今回再提案された。同会館の実績は大きく、早急に改修し使用再開すべきであるが、再検討の際、第三者の意見は反映したのか。また、昨年度の長期休館で利用できなかつた市民等から意見はあったのか。

答 再検討では、新工法の事業者による確認や学識経験者への意見聴取に加え、外部委託を行い客観的に分析した。昨年度の長期休館に際しては、同会館の設備等の充実が再認識され、再開を待ち望む意見があつた。

特別教室の空調を早く整備せよ

問 小・中学校の特別教室の空調整備は、これまで議会で多く指摘されているが一向に進んでいない。財政負担が課題であれば、リース契約での整備も検討すべきではないか。

答 早期に整備すべきと強く認識しており、リース契約も検討中である。引き続き、関係部局と協議を進める。

いじめの相談体制について



問 若者の多くがコミュニケーション手段としてSNSを活用している現状を踏まえ、本市でも、匿名でいじめの相談や報告ができるSNSでの相談体制を構築してはどうか。

答 SNSを活用した相談は気軽に利用できるが、匿名のため、具体的な対応に至った事例が少ないので課題の一つと分析している。引き続き課題解決に向け情報収集に努める。

南吹田地域のバス路線について

問 おおさか東線の南吹田駅が本年3月に開業するが、バス路線について、関係機関との協議状況を問う。

答 当該駅前交通広場への路線バスの乗り入れについて、阪急バス株式会社からは、採算性を見極めたうえで行いたいとの回答を得ている。

問 地方独立行政法人市立吹田市民病院に患者送迎用バスの当該地域への運行を求めるが、状況を聞きたい。

答 同法人からは、民間路線バスの状況や、当該患者送迎用バスの利用状況を見て検討すると聞いている。

後退した市民サービスの復活を



問 中学校給食については、大阪府内の自治体の大半で全員喫食が進んでいる。本市の子どもたちの健全な成長を保障するために、課題を明らかにして、市民参加による議論の場を設け、多くの市民の期待に応えて、よりよい中学校給食の早期実施を求めるが、市長の見解を聞きたい。

答市長 全員喫食が中学校給食のるべき姿として、実施可能な手法を考えている。

説明不足の中核市移行基本計画児童相談所設置の実現性を問う

市民と歩む議員の会
梶川 文代

保健所の職員数について、現在大阪府は37人の職員で業務を行っているが、本市が保健所の移管を受けた後は109人の職員が必要というのは納得できない。見解を求める。

109人は保健センター業務も合わせての人数である。

計画に児童相談所の設置を検討すると書いているだけで何もしないのは明らかであるが、児童相談所を設置するのであれば中核市移行に賛成するという議員もいる。本当にやる気があるのか明確に答えよ。

中核市移行後に、まずは行政内部で検討したうえで府に相談する。

中核市移行の市民の意思を問え

中核市移行については、市民の意思を尊重して決断すべきである。自治基本条例に基づく住民投票を実施し、直接市民に問うべきでないか。

これまで住民投票を行うことは考えていなかつたが、引き続き市民への説明、意見聴取に努める。

南吹田地域の地下水汚染対策の進捗状況を問う

自由民主党糸井智弘

南吹田2丁目及びその周辺地域では、有機塩素化合物による地下水汚染が、かなり以前から確認され、この間、対応されてきている。現在の進捗状況と今後の予定を聞きたい。

汚染北東部は、企業との汚染拡散防止及び浄化措置に関する合意書に基づき、高濃度汚染区域内の観測井戸の一つの付近で、今年度から汚染地下水をくみ上げ、企業が処理している。また、他の観測井戸周辺においても、対策の実施を進めている。

汚染北東部の地下水汚染対策が開始されたことは喜ばしいが、汚染地下水汚染が確認されている。市の対応状況はどうなっているのか。

汚染北西部では、観測井戸を増設し、詳細に汚染状況の調査等を行っている。また、地下水の上流側に位置する企業敷地内の汚染状況の把握等が必要との学識経験者の意見もあり、今後は、企業にも協力を求めて汚染状況を把握し、対応していきたい。

市長の政治姿勢を問う

吹田新選会
後藤 恭平

政治家に求められる役割は社会情勢等によっても変化するからこそ、自身の政治姿勢が大切になると考える。市長は、就任後の約3年半を振り返り、どのような政治家であったと自己評価をしているのか。

現時点での自己評価は控えるが、吹田の強みをさらに伸ばすために、長年の行政経験等を生かしながら、独自の強みを發揮してきたと自負している。

児童相談所等の設置への考え方

児童相談所は、中核市移行後に設置を検討されるが、子どもの命を救うためには費用対効果に関係なく、その次の段階の公設児童養護施設も含め設置すべきと考える。両施設の設置に対する市長の考えを聞きたい。

市長 同相談所は、今後も重要性が高まるところである。また、中核市等でなければ、運営が認められない重要な施設であるため、同養護施設の設置も含め、移行後の移譲事務が順調に回り始めた時点で、検討を深めたい。

既存不適格の施設の解消に向け建設的に議論できるようにせよ

大阪維新の会
橋本 潤

本市の学校校舎の多くは、建築時には適法であったが、法改正等で既存不適格となっている。既存不適格は違法ではないが、それを根拠に、市が正当性を主張しては、議会で建設的な議論ができないのではないか。

法以上の高質化を求める議論は、財政が厳しい自治体では困難であるが、本市では議会で前向きな主張がなされることに強みを実感する。安全性の向上は、議員の主張と同じであり、今後も積極的に取り組む。

交通対策にビッグデータ活用を

国は、交通事故対策を対症療法治型から科学的防止型に転換するため、自動車の走行情報をビッグデータとして活用している。本市の道路管理でも、事故が相次ぐ垂水保育園前の道路等の対策に活用してはどうか。

警察と協議し、交通量が多く事故の懸念がある同保育園前の道路も含め、ビッグデータをどのように事故防止に生かせるかを摸索したい。

質問(個人質問)

今定例会では27人の議員が質問(個人質問)を行いました。

北千里市民体育館について

問 地震で甚大な被害があつた北千里市民体育館の復旧について、わが会派は、本市にはないスポーツ観戦等ができる総合体育館とすることを要望してきたが、市長の見解を問う。

答 高額な予算で経年施設を大規模改修する妥当性は低いと考える。魅力的な総合体育館に変える提案は、将来市民への投資等からも合理的で、実現可能性等を調査し検討していく。

共働き世帯の負担を解消せよ

問 留守家庭児童育成室では、夏休み期間中の児童の昼食は弁当持参のため、保護者の負担が非常に大きい。また、猛暑での保存による衛生面も危惧される。奈良市では仕出し弁当の昼食提供を始めたが、本市でも、まず保護者一�ズを調査してはどうか。

答 食育の観点から弁当の持参しているが、保護者負担が大きいため、まず、他市状況の調査研究に努める。

上の川周辺まちづくりについて

問 上の川周辺は、歩行空間不足等により、交通安全対策に課題があり、長年再整備に向け要望を行ってきた。今般、ようやく再整備実現の可能性が出てきたが、その経緯を聞きたい。

答 大阪府と協議を行う中で、河川を府道の地下に通すことによって生まれる空間を活用したまちづくりに、一定の実現性が確認されたため、事業化に向けた検討を進めるに至った。

南正雀出張所の施設整備を図れ

問 南消防署南正雀出張所は、他の出張所より狭あいで救急車の配備もない。また、管内地域は阪急京都線で隔てられた市南東部であるため、災害時には、踏切閉鎖等で救急隊到着の遅延が想定される。救急車の配備を含め、施設を整備すべきでないか。

答 現時点では、当該出張所の再整備等の計画はないが、検討の際には、救急車等の適切な配置に努めていく。



公明党
小北一美



市民と歩む議員の会
馬場慶次郎



吹田新選会
石川勝



公明党
野田泰弘



日本共産党
玉井美樹子



公明党
吉瀬武司



公明党
矢野伸一郎

自転車搬送コンベアの設置

問 JR吹田駅の地下道の斜路付階段への自転車搬送コンベア設置については、市民からの要望が多く、長年、わが会派も求め続けてきた。今回、コンベア設置の設計予算が提案されているが、今後の予定を聞きたい。

答 本年9月まで設計業務を実施し、来年度に設置工事の予算を提案したい。その後、来年9月末には工事を完了し、10月に供用を開始したい。

就学後も含めた子育て支援を

問 本市では、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制として、吹田版ネウボラに取り組んでいるが、利用者である市民の視点で幅広く捉え、就学後も含めた継続的な支援や相談体制の充実が必要ではないか。

答 今後、小学生以上の子どもを持つ保護者からの相談状況を見ながら、必要に応じて教育委員会等の関係部局との連携も検討する。

災害時の新たな情報伝達方法を

問 名古屋市では、災害時に自動で電源が入るなどして、緊急の防災情報の放送が聞ける防災ラジオのほか、スマートフォン対応の同アプリ等を運用している。本市でも、新しい情報伝達方法を検討すべきではないか。

答 災害時の情報伝達の在り方にについては、取り組むべき課題と強く認識しており、先進事例を基に効果的な方法を関係部局と連携し検討する。

JR吹田駅周辺の再整備に向けた意見交換の場を設けよ

問 JR吹田駅周辺地域の関係団体等の総意とも言える駅周辺再整備の要望書が提出された。商業空間の都心拠点として駅周辺再整備を官民連携で進めるためにも、関係者との意見交換の場を設けるべきではないか。

答市長 市には、まちの将来の在り方を見定め、実現させる責任があり、まず方向性を確認する場を設けたい。



自由民主党
澤田 直己

公共施設マネジメントについて

問 老朽化した公共施設の更新時期が集中するため、市の財源確保が懸念される。適切な公共サービスの提供と安定した財政運営の両立のため、自治体経営の視点で、総合的に管理等を行う公共施設マネジメントを意識した維持管理が必要ではないか。

答 最適な行政サービスを提供する観点から、業務内容を精査し、公共施設の効率的な維持管理に努めていく。



自由民主党
白石 透

タイムラインを活用せよ

問 災害の被害を最小限にするには、タイムライン(防災行動計画)の作成など、ソフト面の対策も重要である。災害発生時は、それに沿って対策を進めるべきだが、市の見解を問う。

答 台風の場合は、多様な被害状況への対応が必要なため、一律のタイムラインの作成は難しいが、昨年の災害時の対応を踏まえ、一定の行動計画の作成は必要と考えている。



公明党
坂口 妙子

学校の部活動の適切な運営を

問 大阪府教育委員会は、運動部活動の適切な運営等に関する国の通知を受け、運動部活動の在り方にに関する方針を策定した。本市教育委員会は同方針を各校にどう周知するのか。

答 同方針は、部活動の休養日を設けるなど、生徒や教員に望ましい環境構築の観点で策定されている。市教育委員会でも方針を策定し、本年度中に各校へ周知を予定している。



吹田翔の会
澤田 雅之

安心、安全な水道事業の継続を

問 平成28年度からの水道料金の値上げ率を下方修正したことで、実施予定であった水管路の更新等に影響が出ている。安心、安全な水道事業を継続させるため、水道料金の値上げの改定がさらに必要ではないか。

答 厳しい財政状況の中、健全な水道を継続させるためには、管路の更新等に係る財源確保が不可欠であり、早期の料金改定が必要である。

コミュニティバスの評価は

問 千里丘地域のコミュニティバスは、阪急バス株式会社に運営を委託し、運賃・広告収入、市の補助金で運行を続け、利用者を増やしてきた。同バスに対する市の評価を聞きたい。

答 バス運行ルートの増設や見直しなど、利用促進を試行した結果、利用者は年々増加している。地域の交通手段として定着し、公共交通としての必要性は高いと評価している。

認知症の早期発見の取り組みを

問 65歳以上の市民を対象に市が実施している健康診査等の受診時に、認知症の簡易検査を行い、疑いのある方には、精密検査を受診してもらう方には、精密検査を受診してもらうなど、認知症の早期発見・治療につなげる取り組みを行ってはどうか。

答 簡易検査の実施には、実施体制の構築等に多くの課題があり、今後、先進自治体の取り組みを参考に、関係部局と連携しながら研究していく。

矛盾する非公開決定について

問 税務部は、これまで部分公開決定で交付していた公文書について、法令等の改正もない中で、なぜ非公開決定にしたのか。それなりに以前、交付した公文書は回収したのか。

答 税務情報には守秘義務があり、分離して扱えない旨の大阪府の回答に基づき非公開としたが、既交付の公文書の取り扱いは変更していない。



吹田新選会
足立 将一



日本共产党
塩見みゆき



公明党
浜川 刚



市民と歩む議員の会
五十川有香



日本共产党
山根 建人

自衛隊の砲弾事故について

問 昨年11月に、滋賀県高島市の陸上自衛隊饗庭野演習場で、訓練中に砲弾が場外の国道付近に着弾し、その破片で民間車両が破損した。着弾地点は、吹田市立少年自然の家から非常に近いが、この重大事案に対し、市長はどのように対応したのか。

答市長 高島市長に電話をし、最新情報の提供と、防衛省に抗議の意思を共に伝えるも、依頼した。

答副市長 公正な契約事務等が確保できるよう、必要な検討を進める。



大阪维新の会
井口 直美

認知症予防について

問 認知症予防には、MC（軽度認知障害）の段階で発見することが、有効と言われている。例えば、健康診査時等に、併せて認知症検査を実施するなどの工夫はできないのか。

答市長 介護教室等で気付きを促すために認知症チェックリストを活用している。今後、さらに有効活用を図るため、関係部局と連携し、早期発見等の仕組みづくりを研究していく。



自由民主党糸井
松谷 晴彦

不登校支援のビジョンを問う

問 不登校の児童、生徒への支援は、喫緊の課題であり、学校の役割も重要だが、その支援体制には、医療等の関係機関との連携が不可欠である。今後、教育環境の充実に向け、どのようなビジョンで取り組んでいくのか。

答市長 不登校等を生み出さない指導体制を醸成するとともに、医療機関や民間団体等との連携を含めた支援体制を研究し、ビジョンに反映していく。

答副市長 市政運営は市長個人の思いで行うものではないと考えている。政党間の距離感について、個別具体に答える立場はない。



大阪维新の会
斎藤 晃

景観に配慮した公共サインを

問 本市では、注意喚起等の公共サインを各部局で設置しているが、デザインの統一性や景観への配慮が見られない。景観担当部局が主体となつた組織横断的な対応と公共サインの整備方針の策定が必要ではないか。

答市長 提案のとおり、組織横断的にデザインの確認や判断を行う担当を設け、速やかに新たな環境マネジメントに取り組んでいく。

答副市長 ホームセンター南西部の曲がり角付近に横断歩道を設置する方向で、大阪府茨木土木事務所が吹田警察署と協議中であると聞いている。今後も、横断歩道の設置を含め、通学路の安全対策について、双方に要望する。

下水道工事の不正事件を問う

問 当該工事の現場代理人は、元暴力団員で血税が暴力団の資金に流れた可能性もある。なぜ契約したのか。

答 事業者が暴力団関係者等ではないとの誓約書を提出したためである。

問 経歴を知る職員が恐れて指摘を見送った結果、事件が発生したと想像するが、指針が必要ではないか。

答副市長 公正な契約事務等が確保できるよう、必要な検討を進める。

市政運営と政党の関わりを問う

問 市政を進めていくうえで、政党との距離感は、本市にも影響を及ぼすため、大変重要である。市長は、市政運営を行なうにあたり、政党との関わりや距離感をどのように考えて

答市長 市政運営は市長個人の思いで行うものではないと考えている。

答副市長 政党間の距離感について、個別具体に答える立場はない。

ベランダ発電の普及促進を

問 自然災害の多発で、自宅のベランダでの太陽光発電が注目され、防災の視点からも有効と考える。この取り組みを普及させるためにも、環境まちづくり基金を活用できないか。

答 ベランダ発電が温室効果ガスの削減だけでなく、防災等への多様な課題にも貢献できる、再生可能エネルギー導入の効果的な手法となり得るのか、他市事例を参考に検討する。

北山田小学校の通学路について

問 北山田小学校の通学路である府道箕面摂津線の拡幅工事が行われている。工事完了後、通学路の安全対策として、どう取り組んでいくのか。

答 ホームセンター南西部の曲がり角付近に横断歩道を設置する方向で、大阪府茨木土木事務所が吹田警察署と協議中であると聞いている。今後も、横断歩道の設置を含め、通学路の安全対策について、双方に要望する。

問 本市の児童・生徒数は毎年増加しており、今後、複数の小・中学校で普通教室等の不足が見込まれる。校舎の増築等には時間も要するため、早急に対応すべきではないか。

答 既存教室を転用するなど対応方法は複数あるが、いずれも、教育活動への支障を最小限に抑えるための調整に時間を要するため、状況を見通しながら進めていく必要がある。

小・中学校の教室不足に対応を



自由民主党糸井善徳の会
里野善徳

問 学校保健安全法で、学校の環境衛生検査の実施や適切な環境維持が定められている。本市の小・中学校の同検査で未実施の項目を聞きたい。

答 検査対象46項目のうち、教室等の環境に係るダ二またはダニアレルゲンの検査などの項目が未実施である。今後、他市の状況等も参考として、検査の実施を検討する。

学校環境衛生検査未実施の検査項目を減らせ



市民と歩む議員の会
池淵佐知子

いきいき署名について

問

「いきいき署名」は、市の職員労働組合等が行っているが、その署名活動の際に使用しているチラシには、

市の複数の施策が、署名により実現したとの記載があるが、事実なのか。

答 副市長 事実ではない。

問 職員が、事実と異なる事例を示して署名活動を行うことは、市民の誤解を招く行動だと考えるがどうか。

答 副市長 事実ならば、遺憾である。



自由民主党糸井善徳の会
藤木栄亮

問 昭和45年に本市で開催された万博で、本市地域無形民俗文化財「山田権六おどり」が披露された。大阪開催の2025年の万博でも、再び披露できるようにしてはどうか。また、太陽の塔の世界遺産登録に協力する申し入れを、大阪府にしてはどうか。

答 市長 他の文化財を含め主催者に提案したい。世界遺産登録も、府の依頼があれば、連携して取り組みたい。

2025年国際博覧会について



自由民主党糸井善徳の会
奥谷正実

市議会ホームページから会議録の検索、閲覧ができます。

パソコン、スマートフォン等で、議会の会議録(本会議録、委員会記録)をご覧になれます。

なお、本会議については、正式な会議録が作成されるまでの間、速報版を掲載しています。

(速報版は、本会議最終日(討論・採決)から、おおむね20日以内にその会期中の会議録を掲載し、正式な会議録を会議録検索システムに掲載した時点で削除します。)



市議会の
ホームページ

本会議録の速報版の閲覧方法

①をクリックすると、閲覧したい日の会議録が選べます。

会議録検索システムの閲覧方法

②をクリックすると、検索システムのトップ画面が表示されますので、右上にある「検索」ボタンをさらにクリックし、表示された画面内の対象年、キーワード、発言者、会議の種類などの条件を絞り込めば、質問や答弁を検索することができます。



会議録
検索システム

The screenshot shows the official website of Itami City Council. At the top, there's a navigation bar with links for '議事録' (Meeting Record), '議案' (Bill), '議員' (Councillor), and '議場' (Plenary Session). Below the navigation, there's a large image of the council chamber with wooden paneling and rows of desks. To the right of the image, there are several sections of text and tables. One section is titled '議事録' and contains a table with columns for '議題' (Topic), '議論' (Discussion), '決議' (Resolution), and '付議' (Adjournment). Another section is titled '議員' and lists names like '吉川義之議員' (Yoshiyuki Yoshikawa). A QR code is located at the bottom left of the page.